

軟調な米小売売上高を受けて米長期金利が低下し米ドルは全面安に

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	2月14日	2月13日	前日差
日本	日経平均株価(円)	39,149.43	39,461.47	-312.04
	-CME日経平均先物(円)	39,100.00	39,480.00	-380.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,759.21	2,765.59	-6.38
	参考)東証REIT指数	1,679.94	1,677.02	2.92
米国	NYダウ(米ドル)	44,546.08	44,711.43	-165.35
	S&P500	6,114.63	6,115.07	-0.44
	-S&P500配当貴族指数	4,663.37	4,685.15	-21.79
	ナスダック総合指数	20,026.77	19,945.64	81.13
ドイツ	DAX®指数	22,513.42	22,612.02	-98.60
英国	FTSE100指数	8,732.46	8,764.72	-32.26
豪州	S&P/ASX200指数	8,555.81	8,539.95	15.85
中国	上海総合指数	3,346.72	3,332.48	14.24
香港	ハンセン指数	22,620.33	21,814.37	805.96
インド	S&P BSE SENSEX指数	75,939.21	76,138.97	-199.76
ブラジル	ボベスバ指数	128,218.59	124,850.18	3,368.41
先進国	MSCI WORLD	3,898.87	3,894.24	4.63
新興国	MSCI EM	1,125.23	1,113.25	11.98
商品	(単位:米ドル)	2月14日	2月13日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	70.74	71.29	-0.55
金	COMEX先物(期近物)	2,883.60	2,925.90	-42.30
10年国債利回り	(単位:%)	2月14日	2月13日	前日差
日本		1.350	1.350	0.000
米国		4.477	4.530	-0.053
ドイツ		2.431	2.418	0.013
オーストラリア		4.417	4.471	-0.054
為替(対円)	(単位:円)	2月14日	2月13日	前日比%
米ドル		152.31	152.80	▲0.32
ユーロ		159.83	159.90	▲0.04
英ポンド		191.69	192.01	▲0.17
カナダドル		107.44	107.68	▲0.23
オーストラリア(豪)ドル		96.74	96.53	0.21
NZ(ニュージーランド)ドル		87.28	86.74	0.61
シンガポールドル		113.74	113.73	0.01
中国人民元		20.986	21.023	▲0.18
インドルピー		1.7534	1.7652	▲0.67
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9372	0.9340	0.34
メキシコペソ		7.495	7.488	0.09
ブラジルレアル		26.722	26.499	0.84
トルコリラ		4.203	4.212	▲0.22
ロシアルーブル		1.6678	1.7095	▲2.44

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。
出所) MSCI、Bloombergより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2025年2月14日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

- 日経平均は4日ぶりに反落。前日の米株高を好感し寄り付きより上昇したものの、アジア時間の円高進行を嫌気して反落。機械や精密機器など輸出関連株が軟調。
- S&P500はほぼ変わらず。デル・テクノロジーが+3.7%と好調。イーロン・マスク氏のxAI社へのサーバー販売で50億ドル超の取引を協議との報道を意識。
- 米10年債利回りは低下。軟調な米小売売上高を受けて米利下げ期待が持続。金利先物(OIS)が織り込む今年末の米政策金利は3.940%(前日4.012%)へ低下。
- 1月の米小売売上高は総合が前月比▲0.9%(12月+0.7%)、コアが同▲0.8%(同+0.8%)へ低下。厳しい寒波やカリフォルニアの山火事等が個人消費を下押し。
- 米ドルは全面安。ロシアとウクライナの和平合意進展期待からユーロが堅調。WTI原油先物は3日続落。ベッセント米財務長官がイランの石油輸出を削減したいと発言し一時上昇するも、その実現性が疑われ反落。

◆今週の注目点:

米関税やロシア・ウクライナ停戦交渉に注目

今週も米政権による関税やロシア・ウクライナ停戦交渉を巡る動きに注目。米国は19日にFOMC議事録(1月分)を公表。17日のウォラーFRB理事やボウマンFRB理事など金融当局者の講演も多数。日本は17日に実質GDP(10-12月期一次速報)、21日に全国消費者物価(1月)を公表。19日には高田日銀審議委員が講演。S&Pグローバルは21日に主要先進国のPMI(2月速報)を公表。来週初23日にはドイツが連邦議会選挙を実施の予定。(入村)

主要国金利の動き



注) 直近値は2025年2月14日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2025年2月14日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会